

2015年9月吉日

学 校 長 殿
英 語 科 担 当 者 殿
E L E C 同 友 会 英 語 教 育 学 会 員 各 位

E L E C 同 友 会 英 語 教 育 学 会 会 長 本 多 敏 幸
第 21 回 研 究 大 会 実 行 委 員 長 原 田 博 子

E L E C 同 友 会 英 語 教 育 学 会 第 21 回 研 究 大 会

爽秋の候、皆様方にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、E L E C 同 友 会 英 語 教 育 学 会 第 21 回 研 究 大 会 を、下 記 の 要 領 で 開 催 す る 運 び と な り ま し た。年々、多くの現職教員の方々に加え英語教育を志す学生の方々も熱心にご参加いただき、熱気あふれる大会となっております。これもひとえに皆様のご協力とご支援の賜と感謝致しております。

昨今、小学校から大学まで、英語教育をめくり様々な動きがあります。本学会では、このような動向もふまえつつ、よりよい英語教育を目指して、各研究部会で研究を進めて参りました。今年度も、拓殖大学を会場に、参加者の皆様とともに視野を広げ、英語教育を見つめ直す一日にしたいと願っております。

すべての英語教育に関わる先生方、教員志望の学生の皆さん、奮ってご参加下さい。

記

1. 期 日 : 2015年11月1日(日) 9:20~17:20
2. 会 場 : 拓殖大学文京キャンパス(東京メトロ丸の内線「茗荷谷」駅下車 徒歩3分 C館5階を中心として(受付はB館1F学生ホール))
3. 主 催 : E L E C 同 友 会 英 語 教 育 学 会
4. 参加方法 : ・事前の参加申し込みは不要です。参加ご希望の方は、当日会場で受付をお願いいたします。受付は一日を通して行っています。
・当日に入会(年会費5,000円)の手続きをなさった方は、会員として無料で参加できます。
5. 参加費(資料代) : 会員 無料 学生 1,000円 一般 3,000円
6. 大会プログラム(詳細は変更になる可能性があります) :

| | | | |
|-------------|-----------|-------------|------------------|
| 9:20 | 受付開始 | 12:30~13:20 | 研究部会発表Ⅰ |
| 9:50~10:00 | 開会行事 | 13:30~14:20 | 研究部会発表Ⅱ |
| 10:00~11:30 | 講演 | 14:30~15:20 | 研究部会発表Ⅲ |
| 11:30~11:45 | 会員総会 | 15:35~17:10 | ビデオによる公開授業(一般会場) |
| 11:30~12:30 | 昼食・協賛企業展示 | 15:35~17:20 | 同(学生会場) |
| | | 17:10~17:20 | 閉会行事 |
| | | 17:35~19:05 | 懇親会(学生食堂) |

7. 内 容：

<午前の部>

◆講演 (10:00~11:30) 【C501】

タイトル：「大学入試改革の現状：可能性と課題」

講 師：根岸 雅史（東京外国語大学大学院）

講演司会：長沼 君主（東海大学）

1990年の大学入試センター試験の導入から25年たった今、日本の入試は大改革の時を迎えようとしている。今回の大学入試改革の全体を貫くものは、新しい学力観に基づく大学入試の導入である。英語では、これに加えて4技能型入試の導入が模索され、その導入は、日本の社会に大きなインパクトを与えるものと考えられている。

本講演では、その導入の背景と導入に際しての現状の選択肢、その問題点について論じる予定である。

<午後の部>

◆研究部会発表 I (12:30~13:20)

□ 実践研究部会 【C501】

「内容理解を英語で行うモデル作り」

「授業を英語で行うことにした!」「でもどうやって?」「日本語で行う授業をそのまま英語にすればいいの?」「教科書本文の内容理解は?」「文法の解説は?」実践研究部会では、「英語で行う英語の授業」について検討しています。今年は、教科書本文の内容理解を英語で行うモデル作りを行いました。大会では、中学3年生の教科書を使った模擬授業をお見せし、それに対して部会で出てきた意見を報告いたします。

司会・発表者：本多敏幸（千代田区立九段中等教育学校）

発表者：井坂昌紀（足立区立湊江中学校）、齊藤澄江（埼玉県立北本高等学校）、中村隆（城北埼玉中学・高等学校）、三浦幸子（都留文科大学）

□ 語彙指導研究部会 【C401】

「リーディングと語彙習得～インプット強化の有効性に関する一考察～

または～英語が決して得意でない生徒たちの奮闘記～」

今年はリーディングにおける偶発的語彙学習について研究している。語彙を覚える目的ではない活動（ここではリーディング）で、自然に語彙を覚えてしまうことを偶発的学習とよぶ。偶発的学習によって覚えた単語は忘れにくいという利点がある一方、偶発的学習によって習得する語彙は多くはない。そこで、リーディング教材に2つのタイプの注釈（インプット強化）をつけ、それがどれだけ学習者の語彙習得を促進したかについて発表する。研究により、クラスルームへの示唆を大いに得た。「決して英語が得意ではない生徒たちの奮闘記」という語彙指導の実践としても、お聞きいただける発表内容である。先生方とともに、楽しく、かつ真剣にこの研究（実践）を考えていきたい。

発表者：宮島盛明（新潟県立分水高等学校）、岡田順子（元埼玉県立朝霞高等学校）

◆研究部会発表Ⅱ（13:30～14:20）

□ 評価研究部会【C501】

「定期考査に向けて生徒はどのような学習をしているか？」

本部会では、定期考査前の生徒の学習の実態を把握するためにアンケートを実施し、その回答を普段の授業内容や定期考査の問題と関連付けて分析した。本発表では、この分析結果をもとに、望ましい学習・指導・評価のあり方についてみなさんと一緒に考えます。

発表者： 笹生綾子（千代田区立九段中等教育学校）、工藤洋路（玉川大学）、木幡隆宏（工学院大学）、清水公男（文京学院大学）、鈴木千貴（横浜市立東高等学校）、中村隆（城北埼玉中学・高等学校）、牧野彰弘（世田谷区立緑丘中学校）

□ リーディング研究部会【C401】

「学習者に、(1) 橋渡し推論、(2) 精緻化推論を効果的に行わせるための教師発問を中心とする読解指導の試み—誘導的発問の実例、改善法、具体的な手順と方法」

本研究大会では、教師と生徒の「言語相互作用」に焦点をあてた授業談話分析研究に基づき、特に「(1) 橋渡し推論、及び(2) 精緻化推論を学習者に効果的に行わせることを主な目的とする誘導的発問の実例、改善法、具体的な手順と方法」に関する試案を発表する。

発表者： 寺内正典（法政大学）、酒井藤恵（東京家政大学）、杉本康子（小平市立小平第二中学校）、山西敏博（小山工業高等専門学校）、渡邊聡大（海城中学高等学校）

◆研究部会発表Ⅲ（14:30～15:20）

□ ライティング研究部会【C501】

「思考力を促進しながら行うライティング活動

—教科書本文のクリティカルな読みをベースに—

教科書本文を読んだ後に行う書く活動は、技能統合型の言語活動として、それ自体で有意義な活動と言えるが、本発表では、この活動をより効果的に行うために、「思考力」を促進しながら、本文をクリティカルに読み、そして、それをベースに書く活動へとつなげる手法を紹介する。

発表者： 工藤洋路（玉川大学）、長沼君主（東海大学）、加藤洋昭（青山学院大学大学院博士後期課程）、木幡隆宏（工学院大学）、齊藤澄江（埼玉県立北本高等学校）、和田朋子（工学院大学）

□ 音声指導研究部会【C401】

「時代を超えた教材と音読学」

いつの時代にも、学ぶ者の心の琴線に触れ、永く記憶に残る英語教材がある。そして、その感動の多くの部分を、教材となった文の音としての美しさや音声表現の見事さが担っている。今年度は、そんな「時代を超えた教材」の中の名文を発表者が出会った（または執筆した）中から紹介し、その音声表現の実現について実演を交えつつ、音読学的に様々な観点から考えてみる。内容の解釈と音声学的分析、そして演劇的な要素まで、音声表現に関わるあらゆる分野で成立する「音読学」を既存の教材にも適用すると、どうなるか。ご期待ください。

発表者： 浅見道明（筑波大学附属高等学校）、小林順子（足立区立第六中学校）、佐々木智子（東京外国語大学大学院修士課程）、島岡丘（筑波大学シニア・プロフェッサー）、田中敦英（桐朋中・高等学校）、中村剛世志（東京外国語大学大学院修士課程）、松津英恵（東京学芸大学附属竹早中学校）

◆ビデオによる公開授業

「教科書の内容理解から自己表現活動を目指して」

授業者：渡邊 敦子（東京都立新宿高等学校）

【一般会場（C501）（15:35～17:10）

解説者：工藤 洋路（玉川大学） 司会進行：下山 宣子（東京都立小平高等学校）

【学生会場（C401）（15:35～17:20）

解説者：三浦 幸子（都留文科大学）、萩原 一郎（神奈川県立鶴見高等学校）

（学生会場はビデオを観る前に、指導手順に関する簡単な解説を行います）

入学時から教えている高校1年生の授業です。単元の最初の授業は、予習なしで全体の概要をとらせます。詳しい内容理解のための日本語の説明は反転授業で行い、2時間目からはパート毎に音読、コンセプトマップ作成とそれを基にしたサマリースピーチと意見発表をさせています。最後の授業でまとめの自己表現活動とライティングを実施します。ビデオでは *ELEMENT English Communication I Lesson 7 Part 4* を扱った授業をご覧ください。

8. **昼食**：当日は休日につき学生食堂は利用できません。お手数ですが昼食は各自でご用意くださいますようお願いいたします。
9. **協賛企業**：株式会社 NHK エデュケーショナル、株式会社 mpi 松香フォニックス、オックスフォード大学出版局株式会社、開隆堂出版株式会社、学校図書株式会社、教育出版株式会社、株式会社桐原書店、株式会社新興出版社啓林館、株式会社三省堂、数研出版株式会社、センゲージラーニング株式会社、株式会社大修館書店、東京書籍株式会社、株式会社ネリーズ、光村図書出版株式会社
10. **懇親会**：情報交換や親睦の場として懇親会を企画しています。会費は3,000円の予定です。会員でない方もご自由に参加いただけます。参加希望の方は、当日受付でお申し込み下さい。
11. **問い合わせ先**：E-mail: elec_taikai2015@elecfriends.com

以上